

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 20年 9月 1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2874400431		
法人名	社会福祉法人 ぶどうの枝福祉会		
事業所名	グループホーム 日高愛の園		
所在地	兵庫県豊岡市日高町栗山661 (電話) 0796 - 44 - 1368		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成20年 7月29日	評価確定日	平成20年 9月 1日

## 【情報提供票より】(平成20年 7月 7日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成17年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14人, 非常勤 0人, 常勤換算	14 人

## (2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1 階建ての	~ 1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200 円		

## (4) 利用者の概要( 7月 7日現在 )

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護 1	8	要介護 2	6		
要介護 3	1	要介護 4	2		
要介護 5	0	要支援 2	0		
年齢	平均 83 歳	最低	61 歳	最高	92 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	谷垣医院、 由良歯科医院
---------	--------------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、社会福祉法人 ぶどうの枝福祉会を運営母体にして平成17年5月に開設されて以来、4年目を迎え、「隣人を自分のように愛する」というキリスト教の教えを基に運営されている。兵庫県北部に位置し、周囲は豊かな自然に恵まれた立地条件の中に、ゆったり落ち着いたたたずまいである。運営者、管理者及び職員が一体となって、入居者の人格、意思決定を最優先に置き、入居者の目線に合わせた寄り添うサービスの提供に取り組まれている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	事業所は、玄関の鍵をかけない自由な暮らしを支援していくことの大切さを理解しながらも、事業所前の幹線道路での交通事故、過疎地域であるがゆえの不審者の侵入からの入居者の安全確保のために、止む無く玄関の施錠をされているが、一歩踏み込んだ何らかの前向きな工夫を望みたい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)
	前回の第三者評価受審結果を基に、できている事、できていない事等を職員間で話し合いが行われて、今後のよりよいサービスに繋がるように反省、意識改革に努められていた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)
	運営推進会議は、2ヶ月に1回定期的に開催されており、出席メンバーは入居者、ご家族等、地区代表、地域包括支援センター職員、事業所職員等から構成されている。会議の中で、第三者評価受審の取り組み状況、施設におけるサービス状況について報告説明されている。今後は、民生委員の出席も仰ぎ、事業所の運営及びケアの質の向上に、更に反映されていくことを期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)
	現在のところ、家族からの苦情はない。事業所は、毎月1回、入居者の日々の暮らしの状況について「一日一言コメント」を添えて、ご家族等に送付されている。また、年1回開催される家族会の時、普段の入居者との面会の時にご家族等の要望・苦情・意見を聴くようにされて、ご家族が安心していただけるように対応されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)
	自治会への入会はしているものの自治会活動に参加するまでには至っていない。地区の祭り、小学校の運動会にも招待されて出席されている。今後は、地域の老人会へ参加したり、「施設便り」等を発刊する等して、更に広く地域に認知され、大切な社会資源として理解が進んでいくよう取り組みを継続してほしい。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の基本理念のもとに、入居者の尊厳を重視し、地域交流を積極的に取り入れ、入居者が安らいで生活できるよう、施設独自の運営方針も掲げている。		運営方針としては、事業所独自のものをつくられていますが、やはり地域のなかでその人らしく暮らせる事業所独自の「理念」をつくり上げて行かれることを期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼で理念および運営方針を唱和し、これに基づいたサービス提供を常に心がけている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の様々な行事に参加しており、小学生やPTAなどの訪問もある。また、日課の散歩の中で、近隣との交流も図るようにしている。		地区の老人会との関わりや、近隣の方が、日常的に気軽に立ち寄っていただけるような関係作りが今後構築されるよう期待する。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	受審後の振り返りや、新たな受審に向けての取り組みも、管理者のみでなく、職員全員で関わり、第三者評価を、日常のサービスを点検・見直す良い機会と捉えられている。		課題・提案については、改善に向けた話し合いが継続されているので、今後具体策が取られることを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2か月に1回の定例開催ができており、受審結果なども報告し、論議されている。		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	施設系サービスおよび行政などが参加する地域ケア会議への参加を通して、グループホームの役割や、認知症ケアに関する理解などが深まるよう、担当者に相談するなどしている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	入居者の毎日の暮らしぶりや健康状態についてのコメントと、写真、支出明細を毎月家族に送付している。また、病状の変化がある場合などは、密に連絡を取るようになっている。職員の異動時は、面会時などの際に説明の機会を設けている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ご家族の面会時に、声かけをしたり、年に1回家族会を開催し、意見を聞ける機会を作っている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	法人内異動はあるが、極力少なくし、普段から外出の際に法人内の施設を訪ねるなどして、互いが顔見知りの関係となっており、異動先でも入居者の顔が分かるようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回事業所内で学習会を開催したり、法人合同の学習会への参加、外部研修への参加を奨励し、スキルアップできるよう配慮されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議への参加や、管理者を中心とするネットワーク作りに取り組んでいる。		地域ケア会議には他のグループホームからの参加がなく、グループホーム同士の顔の見える関係作り、スタッフ間の連携強化、ますますのサービスの質的向上を目指し、連絡会の発足を期待したい。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、ご家族・ご本人から生活歴や意向を十分聞き、見学などに対応している。また、通常は6カ月に一度のケアプランの見直しを、入居後1カ月目にご家族およびご本人とケアプランの見直しを実施し、入居後の状況を見て、ご本人が安心して住み続けられるような取り組みをされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	理念に基づき、入居者の主体性を重視し、日常生活全般において、必要な部分のみの支援にとどめ、役割の復活に努めたり、特技を教わるなど、共に取り組む姿勢を大切にされている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は、日々、入居者が表出しにくい思いや意向の把握に努めると共に、食事・入浴・外出など、さまざまな場面において、ご入居者の生活パターンや体調に合わせた環境整備やケアを実践している。		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	居室担当者を中心に、ケアプランを総括し、作成にあたっては、ご家族に電話で要望をうかがうなどして、複数の職員が関わり、利用者本位の介護計画の作成に努めている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	長期入居等に伴い、ADL（日常生活動作）やIADL（日常関連動作）に変化が生じた場合は、状況に即した介護計画書を作成し、対応している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	各人の希望や状況に応じ、外出支援を行ったり、ご家族等の状況に合わせた受診援助など、個別的な対応を実施している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に要望を聞き、施設の協力医が主治医先になった場合は、受診支援や必要な対応を行っている。また、専門医・他科受診などは、ご家族等の協力を得ながら、適切な医療が継続できるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人・ご家族の意思を尊重し、終末期に対する意向を聞きながら、必要な対応をしている。同意書を作成し、職員間の意思統一も図っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念に基づき、日常のコミュニケーションの中で、入居者の尊厳を守ることを徹底している。個人情報の取り扱いについては、職員と誓約書を取り交わしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・就寝・食事・入浴・外出など日常のあらゆる場面で、入居者お一人おひとりの生活ペースを尊重する対応をしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立や買い物、準備・片付けなど入居者とともに取り組んでいる。誕生会にはその方の好みのメニューを取り入れたり、要望に応じ、外食などにも出かけ、食事が楽しめるよう工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の希望される時間帯に入浴できるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各人が何らかの役割が持てるようにし、社会参加の機会を確保したり、特技の披露ができるようにするなどして、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は日課にしており、食材の買い物も毎日出かけている。その他、畑仕事など、外出の機会を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵をかけないが、玄関は防犯対策で、施錠している。		施錠していても、入居者の方のご希望でいつでも外出できるようにされており、防犯上の問題もあると思いますが、日中の限られた時間であっても、今後鍵をかけないケアの実践に取り組んでいかれることを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>運営推進会議の働きかけなどにより、近くの小学校や公民館などに避難場所を確保することができた。</p>		<p>災害発生時に、入居者の安全確保のために、近隣住民の協力が得られるような働きかけをされることを、期待する。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取量を決め、入居者ごとに記録し、チェックしている。また、嚥下の状態に応じて、食形態を変更するなど必要な対処をしている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>採光の調節や、冬はコタツ、季節の飾り付けをするなど、季節感を味わい、リラックスして過ごせるよう環境整備に努めている。また、リビングは庭に面しており、季節の移り変わりを感じることができる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や道具の持ち込みや、要望に応じて和室対応ができるようにし、居室で居心地良く過ごせる様にしている。</p>		

 は、重点項目。